

## テーマ：介助者を必要としない透明文字盤

講師：株式会社オリィ研究所 常田剛生氏

[社長：吉藤オリィ（分身ロボット OriHime より声での挨拶）]

H29.05.14 PM13:00-13:30 ハートセンター 5階社会訓練適応室

講師:1(+1)名 参加者:43名 NPO:6名 マスコミ:5名 計:54名

### 【内容】



今回のテーマは、「介助者を必要としない透明文字盤」と題し、株式会社オリィ研究所 常田剛生氏 [サプライズゲストとして、社長の吉藤オリィ氏がオリヒメ OriHime を紹介、声で挨拶] が講師で、視線入力による意思伝達、分身ロボット OriHime の操作体験の話を行った。

電子機器の画面を日頃から見慣れていない方や視力や視線の位置が定まらない初めての方には、驚きも多少あったものの、たいていの方は思っていた以上にスムーズな視線に対する文字盤の入力の反応やロボット活用への意欲や気持ちの表現を代替してくれることの楽しさ等をほとんどの人が直感的に理解されていた点が OriHime の最大の利点を十分感じ取られていたようでした。



オリィ研究所の方に講師に来ていただくにあたり、代理店の問題からがまずクリアしなければ、十分な後々のサポート問題と感じ苦労した点と、制度的にも理解していただくため、行政や政治に関係している方にも話を持って行ったが日程等の都合で合わなかったことは残念であるが、多くの方の体験された満足間を見る限り、良かった。前後した形で OriHime がマスコミに取り上げられ、アナログ的な部分も持ち合わせる親しみやすさが参加された方々にも

理解していただけたと感じた。

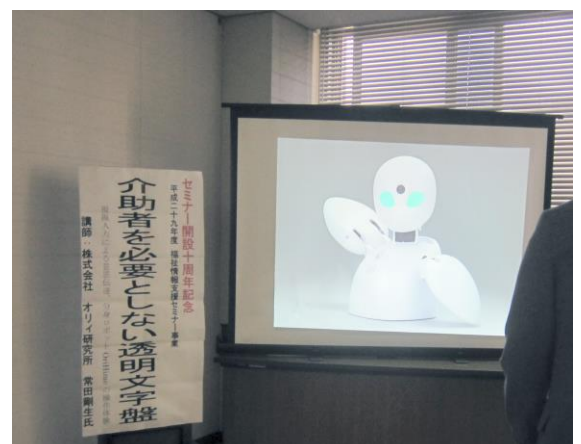
### 【アンケート回答】

A.内容に対する感想の度合 29/43 回答

大変参考になった 25 件 参考になった 4 件

B. 参考になった点や判りにくい点などの感想

- TVでみて何となく知っていたが、今回実物を見て詳細を知る事が出来て良かった。





- 言葉はわかるが、発語でもない方が利用者様にいるので、そういう人達に使うと会話を楽しむことができるなあと思いました。
- 介護施設を運営しています。ご利用中のお年寄りが遠方に在住するご家族とのコミュニケーションが可能ではないかと思いました。
- オリヒメの活用

- 長崎の支援の輪が広がっていくことを願っています。まずは、制度 etc 改善要望も必要ですね。
- 今、オリヒメのようなものがあるんだと便利がいいと思いました。
- とても実用段階に達していることに感動しました。必要としている方に少しでも早く使用してもらえたらと思います。
- 文字を選択するまでの時間が速い。
- 知識不足のため、1つの選択肢として増やすことが出来ました。
- 動けなくても、実際に行ったような体験が出来たのが良かった。コミュニケーションがとりやすいように感じた。
- 現在あるアプリケーションより使いやすそう
- 病院に長期入院している人が、人とのふれあいでなく「存在感」を求められていることが参考になりました。
- 体験者とその家族がすごく喜ばれていて、良かったと思います。
- 実際に体験させていただき、本人はもちろんですが、私もその操作のしやすさ、使いこなせることにビックリ、とてもうれしい体験となりました。
- 学校での活用方法が分かりました。生徒の活用の実際も見れて可能性が広がったと思いました。
- 今回の研修会を受けて、「おりひめ」という分身ロボットがあるのを知ることが出来ました。今後も普及することで病院や職場での利用できればALSの方のQOLの向上が出来るのではないかと思います。
- 実際に利用されている様子を見て、操作の仕方が分かった。使いやすそうだったため、話すことが出来ず文字盤を使っている患者さんに使ってみたいと思った。
- 実際の場面で使えそうと感じた。
- ALSやMSAなど、コミュニケーションをとることが困難な方と関わることがあるため、今回の講座でOriHimeについて学ぶ事が出来て良かったです。
- どの様な場面で使えるかなどが参考になりました。具体的にどうしたら、画面がアップになるかなど、の説明がほしかった。ずっとパソコンを見ていないといけないので、目が悪くならないか心配です。
- 視点が定まらない人には難しいのかなあ
- 視線でスムーズにコミュニケーションがとれることで、子供たちの将来の可能性を広げられる事が出来ると感じた。
- 新しいコミュニケーション手段の一つとして、参考にしたいと感じました。
- 視線入力装置がとても進歩してきていて、すごいと思いました。

### C.現在問題抱えている問題点

- 能力や経済面でのことも含めて、現実的に使用可能なコミュニケーション機器や最新の機器や制度への知識を広げていきたい。
- 年齢や経済状況などで使用できない事があること。
- PCへの入力支援で悩むことが多いです。
- 補助制度の充実が望まれると感じました。(時間がかかるとは思いますが…)
- コミュニケーション機器の使用方法
- 身近にあっている研修会などの情報が今まで入っておらず、今回初めて出席しました。いろんな人に広めたいです。
- スイッチの選択
- 現在病院で勤めていますが、コミュニケーションが困難な方で、透明文字盤を使用している方がいます。視線入力でも視線が合わなかった時があり、コミュニケーションの取りづらさに悩まされています。
- 構音障害で早口の患者さんの聞き取りが難しい。

- アイコンタクトだけでは限界があると感じる。

#### D. 開催に対し、改善・希望内容

- アンドロイドの対応も希望します。

#### E.NPOへ問合せ・希望など

- 登録し、情報を頂いています。ありがとうございます。
- 平日 19:00～
- 今のままでいいです。
- 土・日午後が参加しやすい
- 土曜日の昼からが時間帯がよいです。
- ありがとうございました。
- ハートセンターで大丈夫です。 日・祝日の方が多く人が着やすいと思います。
- これからも勉強させてください。
- 休日の1～3時、本日のような時間帯
- アンドロイドにも対応してほしいです。



#### G.職種分野

医療 12名 福祉 3名 教育 11名 障がい者及び家族関係者 2名 福祉用具 1名

#### H.職種 所属・資格等

医師 1名 理学療法士 3名 作業療法士(訪問看護) 6名  
保健師 1名 訪問看護リハビリテーション 1名 介護福祉士(介護福祉) 2名  
教諭(特別支援学校) 11名  
福祉施設(事務職員) 2名 福祉用具専門相談員 1名  
家族・自閉症害者の保護者 2名

#### I.開催の情報の入手の媒体

チラシ・ポスター 1件 お知らせメール 7件 インターネット 1件 マスコミ 1件 市報 1件 知合い・職場 16件 所属機関紙 2件

#### J.今後の興味(複数回答あり)

福祉 16件(介護 1件 制度 6件 情報支援 4件 e-Atc 2件) 医療 4件 教育 2件 就労 6件  
暮らし 1件(住居 1件)

#### 福祉情報支援セミナー事業

《福祉情報支援(e-Atc)研修会コース》